

「新地域密着型金融推進計画」

1. 計画期間

平成19年4月1日～平成21年3月31日

2. 基本方針

当金庫が平成15年より4年間に亘り推進してまいりました「リレーションシップバンキングの機能強化」「地域密着型金融推進計画」は、平成18年度をもって完了いたしました。

この間、地域との信頼関係を基礎とした長期継続的な取引の中で、「使命共同体」の一員として地域の活性化、中小企業の再生支援および金融サービスの向上等に積極的に取組み、真のリレーションシップバンキング推進を図ってきました。

その結果、平成17年度から平成18年度に亘る2年間の推進計画に掲げた収益力の強化 健全性の追求 信頼度の向上に関しては一定の成果が上がったものと考えております。

しかしながら、当金庫にとって地域密着型金融が安定したビジネスモデルとは未だ言い難いこともあり、今後は次の点に留意しながら地域社会との共生を図りつつ、地域経済の発展を支える金融機関としての役割と責任を果たしていく所存であります。

事業再生については、地域の経済社会事情等に大きく影響されますが、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資と併せ、従来どおり目配りしつつ取り組んでいきます。

利用者からの苦情等についてはこれを真摯に受け止め、経営改善に結びつけることにより利用者ニーズに十分応えられるよう引き続き努力致します。

建設業を中心に不良債権の顕在化による処理コストの増加が懸念される中、民と官が一体となって地域の活性化に取り組むことにより、地域内経済の好循環を引き起こし、当金庫の収益にもつながっていくことを期待して、これまでどおり地元の信用金庫としての活動を続けることとします。

3. 地域密着型金融推進における具体的内容

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

財務分析結果に基づく経営相談、資金繰り等のシステムを用いた経営管理支援を拡充する一方、中小企業再生支援協議会、中小企業基盤整備機構等他機関との連携を強化し、取引先企業のライフサイクル（創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生等）に応じた各段階におけるきめ細かい支援活動を展開します。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

目利き力の向上により、企業の財務力、事業内容、技術力および将来性などを的確に評価できる能力を養い、公的金融および信用保証制度等との役割を分担しつつ、不動産担保および個人保証に過度に依存しない融資を推進します。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

少子高齢化による人口減少が続くこの地域において持続可能な地域経済を維持、確立するため、地域の強みである観光産業への直接的サポート（集客活動等）を展開するほか、民と官が連携した取り組み（郡上地域活性化協議会等）に積極的に参画する等地域活性化に向けた取り組みを強化します。

4 . 数値目標(平成19年4月1日～平成21年3月31日)

| 項 目 | 目 標 |
|----------------------------------|-----|
| 財務分析結果に基づく経営相談件数 | 50件 |
| 財務分析結果に基づく提案セールス件数 | 30件 |
| 資金繰り等各システムを用いた経営管理支援先数 | 15先 |
| 中小企業再生支援協議会、中小企業基盤整備機構等他機関との連携先数 | 3先 |
| 創業・新事業支援先数 | 5先 |
| 経営改善支援先数 | 15先 |
| モニタリング実施先数 | 16先 |
| 担保および保証への過度に依存しない融資の提案先数 | 5先 |
| 郡上地域活性化協議会への参加回数 | 15回 |
| 郡上ビジネスクラブの開催回数 | 30回 |
| ビジネスフェア出展企業数 | 7先 |